



初代会長から第2代会長へ

新旧 生徒会長対談

初代生徒会長 小林 良
第2代生徒会長 渡辺 直樹



小林：最初はたいへんだったけど、少しずつ「会長」の立場も慣れたよ。

渡辺：そうですか。会長として一番たいへんだったことは、何ですか？

小林：そうだなあ・・・、生徒全員の前であいさつしたり、文章を考えたりすることがたいへんだったなあ・・・。

渡辺：そうですか。自分も頑張らないと・・・。

小林：ところで、会長になって、やってみたいことは何？

渡辺：うむ～そうですね。今のところは、特に考えていないけどお・・・。
小林さん、何かやり残したことがあるんですかあ？ もう1年、生徒会長をやったりして（笑）。



小林：無理無理！ もう「キトー」さんに、就職の内定が決まってるんだから（笑）。それより、来年の生徒会をよろしく！ 頑張ってください。

渡辺：わかりました。先輩も、仕事を頑張ってください。

渡辺新会長は、すでに役員を集めて新年度の企画を立て始めているそうです。リーダーシップを発揮し、桃花台学園の生徒会活動を、さらに発展させてくれることなのでしょう。



あつ！ 桃花台

- ・富岳通運(株)
- ・(株)ユニセン
- ・(株)キトー
- ・(株)リバーサイドコーポレーション
マクドナルド万力店
マクドナルド南アルプス通り店
- ・(株)甲府キンダイサービス2人
- ・(株)NSD八ヶ岳ファーム
- ・ワークスペースMII
- ・アダストパック
- ・甲府東洋(株)
- ・(株)プロヴィンチア
- ・テルウェルジョブサポート(株)
- ・(株)サイゼリヤ
- ・(株)シミズフレッシュデリカ
- ・くぬぎの森城東

努力が実を結ぶ 三年生の進路決定！

三年生十六人全員の就労先が決まりました。かえで支援学校分教室で二年間、そして桃花台学園で一年間、合計三年間の一人一人の努力の成果です。これから、社会人としてそれぞれの人生が始まります。桃花台学園の第一期卒業生としての誇りを胸に、これまで以上に自分を磨き、豊かな人生になることを祈っています。

就職おめでとう。

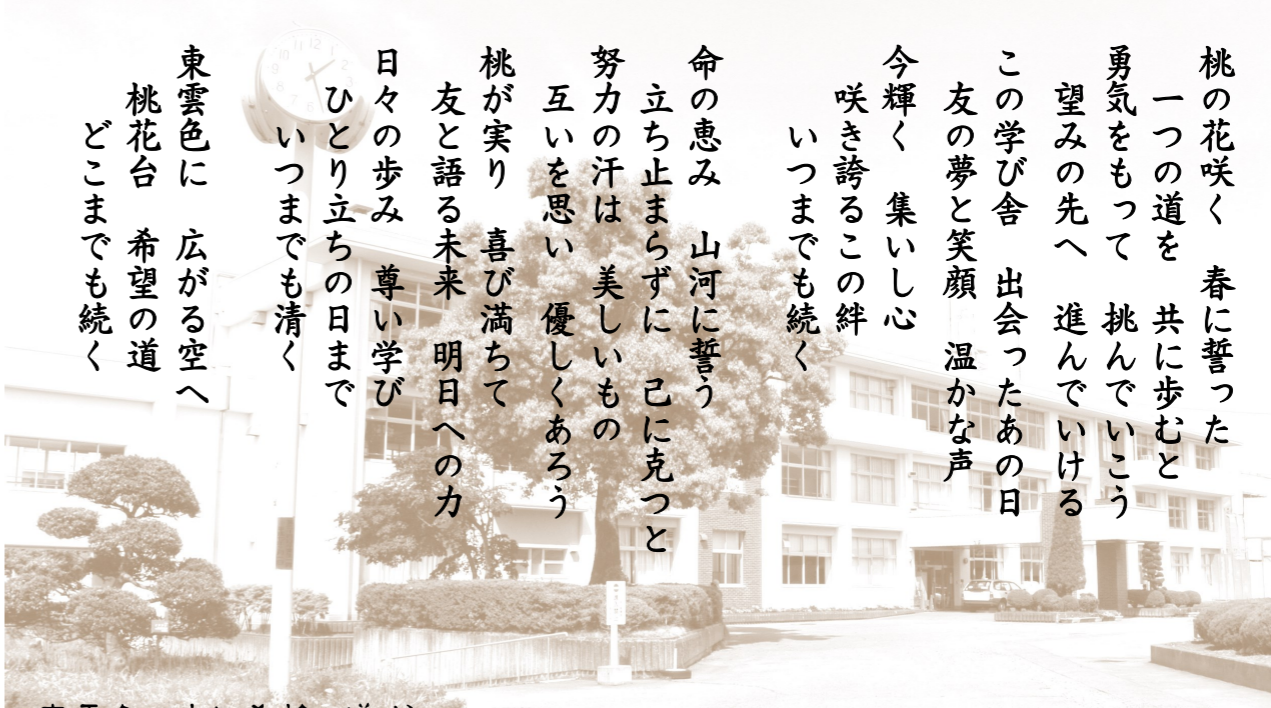
CHALLENGE Tokadai

チャレンジ桃花台

3rd

2016/3/1

山梨県立 高等支援学校桃花台学園 校歌



桃の花咲く 春に誓った
一つの道を 共に歩むと
勇気をもって 挑んでいこう
望みの先へ 進んでいける
この学び舎 出会ったあの日
友の夢と笑顔 温かな声
今輝く 集いし心
咲き誇るこの絆
いつまでも続く

命の恵み 山河に誓う
立ち止まらずに 己に克つと
努力の汗は 美しいもの
互いを思い 優しくあろう
桃が実り 喜び満ちて
友と語る未来 明日への力
日々の歩み 尊い学び
ひとり立ちの日まで
いつまでも清く

東雲色に 広がる空へ
桃花台 希望の道
どこまでも続く

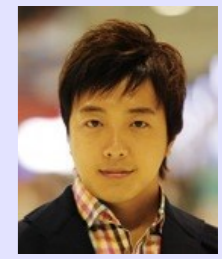
東雲色の空に希望の道が... 校歌 制定！ 平成28年1月7日

早春の爽やかな風が、桃のつぼみを揺らします。春の訪れとともに、校舎内に若い歌声が響き渡っています。待ちに待った本校の校歌が完成しました。

4月の開校式を終えて間もなくの頃です。校内で委員会を組織し、「校歌制作プロジェクト」を始動させました。校歌の作詞・作曲は、以前から本校に縁のあるシンガーソングライター「神部冬馬」氏に依頼したところ快くお引き受けいただきました。

さて、まずはメロディーです。神部氏からは、穏やかで温もりのある4曲が提案されました。全校生徒と職員でこの4曲を聴き比べ、意見や感想を出し合い、この中から一番素敵で1曲を選びました。歌詞は、川柳という形で生徒から基本フレーズを募集し、これをベースにしながら神部氏が曲に乗せて作詞しました。そして、校訓「挑戦 克己 自立」と、「桃」の成長の様子、さらにスクールカラーの「東雲色」を歌詞に取り入れ、一人一人の生徒の育ちと桃花台学園の絆を表現しています。

素晴らしい校歌が完成しました。本校のひとつのシンボルとして、末永く歌い継がれていくことでしょう。



校歌作者
神部冬馬氏



校歌引き渡し式

神部冬馬（かんべとうま）
シンガーソングライター
1978年2月14日東京都生まれ
◇神部和夫（音楽プロデューサー／父）と、イルカ（シンガーソングライター／母）の影響を受けて育つ。
◇2009年 ヴァンフォーレ甲府の公認応援歌を担当『君は青い風／泥だらけの靴』CDをリリースする。
◇2010年 山梨県公認の『やまなし大使』に就任する。
◇2013年 山梨放送の「ててて！TV」に金曜レギュラーMCに起用される。
◇桃花ダイスキマーケットに毎回来校。また、授業や給食にも参加。学校の雰囲気を知ったり、生徒との交流を深めたりしながら、桃花台学園の校歌を完成させた。

校長室

「先言後礼」に学ぶ

いよいよ桃花台学園一期生の卒業式を迎えようとしています。彼らがかえで支援学校分教室に入學した同じ年、実は私も教頭としてかえで支援学校に赴任しました。「職業実践」という授業を担当した縁もあり、彼ら一期生の卒業式に立ち会うことができることは、感慨もひとしおです。

さて、私はあの頃に学んだことがあります。分教室全体で取り組んでいた、「言葉が先で、お辞儀が後」という「先言後礼」です。これは、当時学部主事を務めていた佐田弘和先生（現新しい学校づくり推進室指導主事）の発案だと聞いています。現在、本校ではこの教えを受け継ぎ、集会や授業の開始・終わりの際に実践されています。一糸乱れぬ間合いで生徒に「先言後礼」をされると、なんだか嬉しくなります。「よし、いいぞ！」という気持ちにもなります。しかし、最近心配していることがあります。普段廊下ですれ違った際にあいさつができる生徒とできない生徒がいることです。普段すれ違った際のあいさつは、必ずしも「先言後礼」である必要はなく、会釈でもよいのです。

あいさつは、人との出会いの中で最初の場面です。かつ第一印象が決まる最も重要な部分の一つだと思います。「先言後礼」は最も丁寧なあいさつですが、このあいさつが身に付いていけば、社会に出たときに他者からの信頼感も高まり、職場での人間関係づくりに大いにプラスになると思います。三年生は、もうすぐ就労先で社会人第一歩を踏み出すこととなりますが、あいさつがきちんとできる人になつてほしい。一・二年生も同様です。どんな場面でもきちんとあいさつができることは、自分に自信を持つきっかけになります。これからは、『あいさつをきちんとできる桃花台生！』という私の中のキャッチフレーズを、学校の中に浸透させていきたいと思っています。

校長 宮下 誉夫

CHALLENGE Tokadai
第3号 平成28年3月1日発行

山梨県立高等支援学校桃花台学園
〒406-0026 山梨県笛吹市石和町中川1400
TEL 055-263-7760 FAX 055-263-0741
URL <http://www.toukadai.kai.ed.jp/>

東雲色とは... 朝日が出る前の空の色です。日の出の前後は、【暁（あかつき）】→【東雲（しのめ）】→【曙（あけぼの）】と、空の色の変化に応じて呼び方が変わります。昔からの美しい表現です。東雲色は、本校のスクールカラーです。

満足される製品&サービスを めざせ! TOKADAI品質



一般就労をめざす桃花台学園では、専門学科「産業技術科」を設置し、コースごとに専門的な学習内容を扱っています。そして、それぞれの製品やサービスについて、質の高さを追求した学習に取り組んでいます。

農業生産コース

本校の農園で栽培・収穫した野菜を、笛吹市一宮町の「いちのみや里の駅」で販売させていただいています。雨宮清一総務統括部長からは、「ハクサイやジャガイモなど、他の生産者と比較しても決して恥ずかしくない野菜で、売れ行きは良かったですよ。」と農産物の品質を評価していただきました。「生徒の皆さんが来店し、店内見学や市場調査を真剣にする姿に感動しました。」「今後は、出荷する野菜の種類を増やしたり、野菜の苗や花卉などにも挑戦してはいかがでしょうか。」と、さらに期待を込めたアドバイスをいただきました。

食品加工コース

本校で製造した冷凍ピザ生地を、株式会社F T山梨に納品しています。このピザ生地は、北杜市白州町の「サラダボウルKitchen白州べるが」で調理され、実際にレストランで提供されています。向井千尋店長からは、「モチモチ感があって、とてもおいしいピザ生地です。当社の品質管理担当が厳しい目でチェックしているので、品質はバッチリです。」と好評価をいただきました。「生徒の皆さんが来店されたときの素敵な笑顔が印象的でした。」「大きさや形の一定化など、さらに腕を磨いてくださいね。」と応援の声もいただきました。

環境メンテナンスコース

笛吹市御坂町の山梨県総合教育センターで、定期的に清掃業務を行わせていただいています。山梨県総合教育センターの星野真理所長からは、「このセンターでは、専門業者にも清掃を依頼しているのですが、業者と比べても遜色ない仕事ぶりです。生徒の皆さんは『仕事』として自覚し、手を抜くこともなくプロ意識を感じます。」「今年1年間の様子を見ていますが、レベルアップ・ステップアップしていますね。そして、何より生徒の皆さんの挨拶が素晴らしかったですよ。」と清掃業務だけではなく、対応の態度についても評価していただきました。



農業生産コース



農業生産コース



食品加工コース



食品加工コース



環境メンテナンスコース



環境メンテナンスコース

挑む! 桃花台

接客・OA ※OA…オフィスアシスタント

コース以外にも、「流通・サービス」の教科内容を学習する専門教科D「接客・OA」を、各学年とも週に2時間設定しています。ここでは、接客や事務補助に関する知識や技能の習得をめざしています。来校されたお客様や会議に参加される外部の方々に、実際に生徒が接客するという実践の場なども設けています。



本校では、これからも高品質のTOKADAIブランドをめざした挑戦を続けます。

山梨県障害者職業能力検定

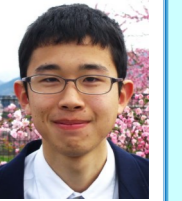
12月5日(土)山梨学院大学を会場に、山梨県障害者職業能力検定が行われました。山梨県が主催する新たな検定で、評価基準により初級・中級・上級の各等級が、山梨県知事により認定されます。初年度の今年は、「接客サービス(喫茶サービス)」と「事務アシスタント(文書発送作業)」の2検定が実施されました。

本校からは合計35人の生徒が検定に臨み、「接客サービス」検定では初級に2人、中級に3人が認定されました。「事務アシスタント」検定では初級に6人、中級に1人、上級に1人が認定されました。「事務アシスタント」検定は、認定率が20%に満たない厳しい認定基準の中、3年生の秋山雄太郎さんが、県全体でただ一人だけ上級認定を受けました。秋山さんは、「作業の丁寧さ・正確性・スピード」について、審査員からグッドポイントとして高く評価されました。

来年度は、「ビルメンテナンス(清掃作業)」の検定が追加される見通しです。一人一人の学習の成果が試されます。上級合格をめざして頑張りましょう。



封筒の宛名シールを間違えないように注意して貼りましょう。上級に合格して嬉しいです。

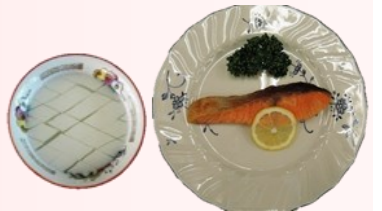


3年 秋山雄太郎さん

全国高等学校食物調理技術検定

「食物調理技術検定」とは、「被服製作技術検定」や「保育技術検定」とともに、全国の高等学校で実施されているものです。難易度により1~4級の検定があり、各級とも筆記試験と実技試験があります。

今回の検定では、本校から3級が1人、4級が10人合格しました。3級の検定問題は、筆記・実技とも高度な内容ですが、3年生の小宮山夏実さんが見事に合格しました。今年の3級実技試験は、「魚のムニエル」と「牛乳豆腐」の調理が指定されましたが、小宮山さんは時間内(40分間)に手際よく2品を完成させました。この経験は、きっと就職や家庭生活に大きく役立つことでしょう。



3年 小宮山夏実さん

三級合格とでも嬉しかったです。調理にかける時間がかかるといいますが、手順がつかない場合は、時間をかけて練習したいです。

売っ! 桃花台

漢検 日本漢字能力検定

この検定では、漢字の読み書きだけではなく、四字熟語や同音異義語・対義語などが出題されます。難易度により10級から1級まで設定されているので、それぞれの学習状況に応じて、受検する級を自分で選択します。今回の検定では、8級から4級まで15人が受検し、各級で多くの生徒が合格しました。

日本語を正しく使うことは、円滑なコミュニケーションにつながります。漢字もそのひとつです。学校の授業だけではなく、家庭学習など日々の努力が不可欠です。

漢字

口検 パソコン検定

P検とは、ICT(情報通信技術)に関する知識・技能の検定です。4級検定では、実技テスト(タイピング・ワープロ・表計算)と筆記テスト(コンピュータ知識や情報モラルなど)を受検します。今回は、5級検定で18人、4級検定で2人が合格しました。

現在、私たちの身の回りには、たくさんのICTがふれています。これらを正しく活用する能力や技術は、これからの社会生活・職業生活に役立つ大切な力になります。知識や技能を高めていきましょう。



ポイント

◆本年度からスタートした「障害者職業能力検定」は、厳正な基準により山梨県が認定するものです。①正しい手順で②正確に③丁寧に④素早く⑤確実に作業することが求められます。どの要素が不足しても認定されない、とても厳しい検定です。しかし、これらの力は、どの職業でも必要で不可欠なものです。就職に向けて、身に付けたい力なのです。初級から中級へ、そして中級から上級へと、常に上をめざしていくことが大切です。

パソコン検定

◆ある企業の方から「生徒の皆さんは、SNSを正しく使えますか」と問われました。企業では、ブログやライオン(LINE)で、会社の情報や個人情報などが漏洩することを心配しています。パソコンなどを使えるかどうかだけではなく、社会人としてモラルのある正しい使い方ができるかが重要なのです。パソコン検定などで「情報モラル」を高めていく必要があります。